

ふくおかの経済

令和6年7月号



生産

持ち直しの動きがみられる。

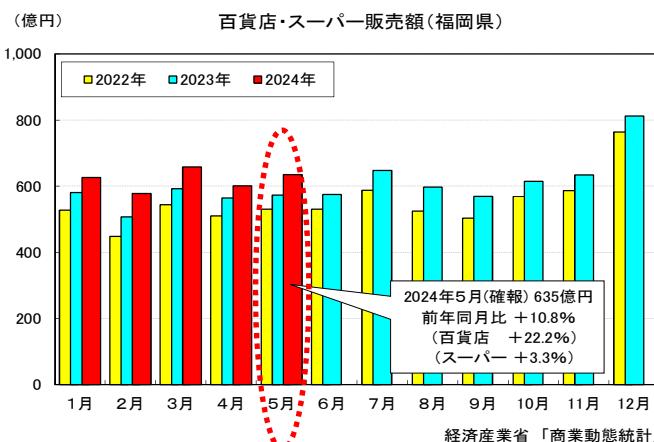


鉱工業生産指数は、2020年の生産水準を100として、その変化を表しています。

消費

緩やかに回復している。

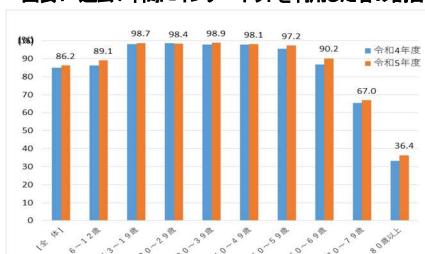
5月の百貨店・スーパー販売額は、3ヶ月連続で前年同月を上回りました。



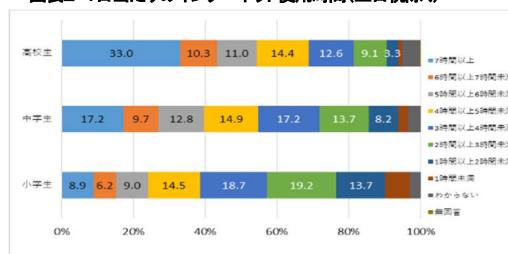
今月のトピック ネット利用の低年齢化がもたらす影響

- インターネットは、私たちの生活に欠かせないものとなっています。総務省「令和5年通信利用動向調査」によると、過去1年間にインターネットを利用した者の割合は13~59歳の各年齢階層では概ね100%となっているのに加え、6歳~12歳でも9割に迫る勢いです(図表1)。1日の平均利用時間は、平日では、小学生は約3時間46分、中学生は約4時間42分、高校生は約6時間14分となっています(図表2)。
- インターネットの長時間利用が進む中、注意すべきこととして、「眼の疲れ」が挙げられます。長時間、ごく近距離で小さな画面を見続けることは、眼に大きな負担をかけます。実際に、SNSや動画視聴を1日3時間以上している割合が全国を上回っている福岡県の小学生は、視力1.0未満の割合が全国より7.9ポイント高くなっています(図表3)。
- 近年、授業での活用が進むなどより身近な存在となりつつあるインターネットですが、長時間の使用には健康面から注意が必要であり、低年齢層に対しては、特にインターネットとの距離感や利用時間について配慮する必要がありそうです。

図表1 過去1年間にインターネットを利用した者の割合



図表2 1日当たりのインターネット使用時間(土日祝除)



図表3 裸眼視力1.0未満の割合

